

# うちなーぐち

かわら版

沖縄語を話す会会報

第26号

2020年7月4日発行

会長 山路 安清

事務局

〒112-0002

東京都文京区小石川 5-26-10-101

伊藤須美子

電話 090-9834-7808



なーぶ すーぎーじ いしじょー うち  
那覇ぬ崇元寺ぬ石門（内から）

沖縄語を話す会は、沖縄本島の伝統的な言葉を知るための勉強会です。  
沖縄語の歌の理解にも役立ちます。月に2回、東京品川の大崎で行います。  
入会はいつでもできます。照会は上記の事務局へ。

- うちなー きどい  
・ 沖縄ぬ踊 ----- 児玉清子 2頁
- るーちゅー ちゅ やまと ちゅ  
・ 琉球ん人から大和ん人んかい ----- 内田善子 3頁
- ・ 事務局から ----- 5頁

ホームページ

<http://www.wwq.jp/p/>

沖縄語教育支援文庫

<http://www.wwq.jp/q/>

うちなー きどい  
沖縄ぬ踊

児玉清子（横浜市港北区）

なま わ たー ちた うちなー  
今、我っ達んかい伝わとーる沖縄ぬ  
きどい うちなー るーちゅー どち うぐしく  
踊や、沖縄ぬ琉球やたる時に、御城  
きどい むらむら  
ぬ踊どっしどじまとーたしど、村々ん  
ちた うかみ うさ  
かい伝わとーたる御神んかい捧ぎーる  
きどい あ  
踊ぬ合ーさったしやいびーん。

系ーぐに てーしち じーぬーな  
親国ぬ大切な芸能成とーいびーたく  
きどい うたさんし の しひやくにんあま 系ーださけ  
ど、踊ど唄三線ー400年余いぬ間栄  
ーやびたん。

どない くに みんぐく こーてー じゅーしせーき  
隣ぬ国、明国ぬ皇帝や、14世紀ぬ  
はじ るーちゅー ちけ へん  
初み、琉球んかい使ー出じゃさびたん。

うんにーに ちよーこー しち むし  
うんにーに朝貢ぬ式ぬ結ばりやびた  
ちよーこー くに いちばんあー  
ん。朝貢ぬしえー、うぬ国ぬ一番上  
ちゅ ちとうさ くと  
ぬっ人んかい苞捧ぎーる事やいびーん。

みんぐく こーてー るーちゅー ちよーこー リー  
明国ぬ皇帝や琉球からぬ朝貢ぬ礼  
さつぱー しち や  
どっし、冊封ぬ式すんで言びたん。あ

こーてー さつぱー う くに  
んし皇帝や、冊封受きーる国んかいど、  
あちね ゆる さつぱー るーちゅー をー  
商ー許さびたん。冊封や琉球ぬ王ぬ

か みんぐく こーてー るーちゅー  
代わるかーじ、明国ぬ皇帝ぬ「琉球  
をー か ち  
ぬ王ややーどやる。」んで言る書き付き

たまん ちゃーぶいさじ くと  
ど、玉御冠授きーる事やいびーん。  
さつぱー ちけ ちゅ ちゃー さつぱー  
くぬ冊封ぬ使ーするっ人ぬ達「冊封

し」んで言ちよーいびーん。冊封使ぬ  
ちゃー しひやく くひやくにん ぐ るくちち 系ーだ  
達や、400から500人、5、6月ぬ間

るーちゅー く くと  
琉球をて暮らちゃんぬ事やいびー  
さつぱー なら なげ ちぢ むる  
ん。冊封ぬ習ーしえー長ー続ち、諸さ

にじゅーにかい な  
ーに22回成とーいびーん。  
さつぱー し ぬ ふね かんむい ふに  
冊封使ぬ乗とーる船、「冠ぬ船」

か うんしん い  
んで書ち、「御冠船」で言ちよーいびー  
さつぱー したー ど む たみ  
ん。くぬ冊封使達う取い持ちする為な

むゆー じーぬー うんしんをどい  
かい催さったる芸能や「御冠船踊」  
い うんしん  
んで言ちよーいびーたん。くぬ御冠船  
きどい くに あちね たみ いっぺーやく  
踊ど国ぬ商ーぬ為なかい一杯役に  
た うんしんをどい さつぱー したー  
立ちやびたん。御冠船踊や冊封使達が  
ち に さんにぬー ちーく  
来ゆーる2、3年前から稽古そーいび  
ーたん。あつ達や長ー居たくど、踊や  
しちかい わ むゆー  
7回んかい分きらつて催さつて、うれ  
ー「七宴ぬ式」んで言らつとーいびー  
ん。

うんしんをどい へん ちゅ  
御冠船踊んかい出じーるっ人ぬ  
ちゃー うぐしく ちど くれー たか  
達や、御城んかい勤みとーる位ぬ高  
さむれー じなん さんなん いら  
さる士ぬ次男、三男から選ばつたし  
きどい ぶ じょー めー  
やいびーん。あんし踊奉行ぬ前をて  
ちーく ちむが  
稽古んかい肝掛きとーいびーたん。

うんしんをどい かたち いるいる  
御冠船踊んでしえー形ぬ色々あい  
るーじんをどい わかしゅーをどい にーせーをどい  
びーん。老人踊、若衆踊、二才踊、  
ぬなぐきどい くみきどい わ  
女踊、組踊んかい分きらつとーいび  
ーん。江戸ぬ世に徳川将軍ぬ代替い  
じど ゆー とくがーしよーぐん てーがー  
ぬ際に、慶賀使どっし、薩摩ぬ芝江戸屋  
ちわ けーがし さちま しば びど や  
敷をて、徳川家光ぬ前んじ江戸上い舞



伊野波節踊る筆者

たんで言  
る書き付  
きぬ残と  
ーいびー  
ん。くぬ  
うんしん  
御冠船  
きどい ぬー  
踊ん、明  
じじゅーににん  
治12年、  
るーちゅー はん  
琉球藩  
おきなわけん  
ぬ沖縄県  
な あと  
成たる後  
ー、城を

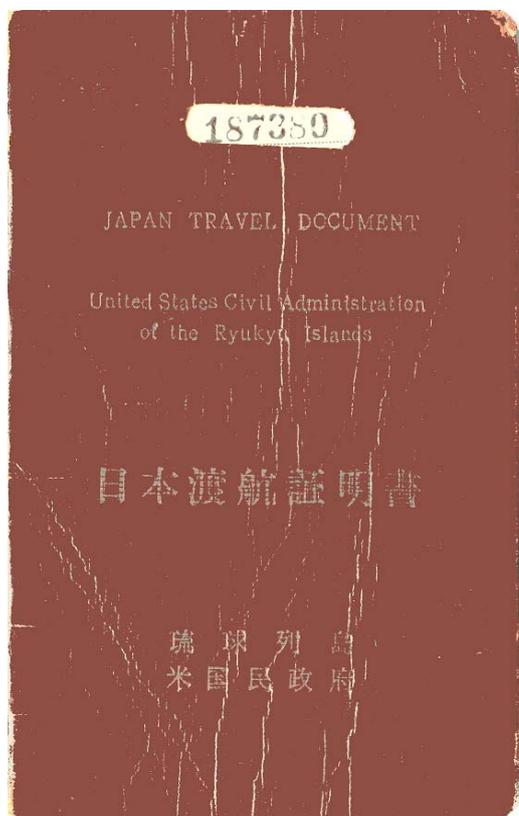
て踊と一たるっ人ぬ 達や、城をて一  
踊らん成て、那覇ぬ芝居家をて踊い  
る如成て、うりから多くぬっ人ぬ 達  
んかい広まて行ちゃびたん。あんし今ま  
で続ちよーる場所どやいびーる。明治  
ぬ世成いねー、昔からあたる重らーさ  
る踊に比びて、誰にん成いる軽さる  
踊ぬ多く作りやびたん。巾いびー  
ちーり、芭蕉巾でー、軽さる物成いび  
たん。くれー雑踊んで言ちよーいび  
ーん。

琉球人から大和人んかい

内田善子（千葉県八千代市）

我んねー1962年、沖縄をて高校卒業  
し直ぐ同土小三人さーにアメリカ世  
ぬ沖縄からパスポート（琉球列島米  
国民政府発行）とドル持ち、那覇ぬ  
港出じてから三日目、東京ぬ晴海  
かい着ちゃびたん。パスポートかえー、  
我っ達や「琉球住民」んち書かっ  
ーいびーたん。何がやら異風なーやん  
やーんち、同土小と面見合さびたん。  
「日本国への帰国を証する」んちスタ  
ンプぬ押さって、荷ぬ調べ、あんしか  
らドルから円んかいや、一杯ふるまさ  
そーいびーたん。うんにーねー1ドルや  
360円やいびーたん。同土小と見し合  
一杯肝ぬ踊いる心地やいびーたん。あ  
んしから会社ぬ家（寮）ぬある上野  
かい向かやびたん。初みて見じゆる

景色んかい、目ぐるぐる、都電見じゃ  
ーに、「電車だ電車だあ」んでち、一杯  
いしゃかて、「あれー電車ーあらんどー」  
んち大和人ん人ぬ一言葉ぬあいびーたん。  
都電ぬ家ぬ傍通とーしん知らん、夜成  
いねー家ぬがたがた揺ゆくと、ねーぬ揺  
とーんで思やーに、外んかい飛出じー  
ねー、直ぐ止まやびたん。やいびーしが  
又んがたがた、あきさみよー、又んね  
ー？電車ぬ終わいるまで続ちやびたん。  
やっどかっど眠じゆるくとぬ成いんで  
思いねー、うぬ後ー恐るしー声、どー  
にーぬ声、初みて聞ちゆるどーにー、恐  
るさいびーたん。うーど被じゃーに眠  
じゃびたん。眠じ不足ぬまま、起きて  
すどみて物食みーが賄ー屋んかい行  
じ、はしる開きーねー、何がな一杯臭さ



当時のパスポート 94×150mm 筆者提供

ん、嫌なかじゃっし、我っ達や、あきさ  
 みよー、忍ぢん忍ららん、外ぢパン買  
 ーぢっ来、食まびたん。嫌なかじゃー  
 納豆やいびーたん。いちぢた賄ー屋ん  
 かいやちぢしえー成いびらんたん。

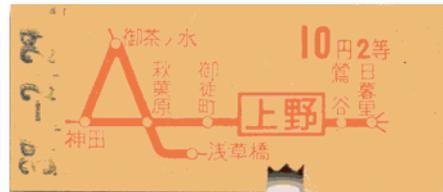
昨日夜ぬぢーにーや動物園ぬ中ぬ  
 アフリカぬまぎさるいちむしぬ声やい  
 びーたん。我っ達家や上野動物園ぬ  
 東向ぬ園ぢ入り向ぬ園ぬたなか  
 んかいあいびーたくど、今日ぬ夜ん都  
 電ぬ音ぢいちむしぬ恐るしー声んかい  
 煩ーりゆんぢ思とーいねー、なーあ  
 ねー、あいびらん、今日ぬ夜ーサイレ  
 ぬ音やいびーたん。夜からすぢみぢま  
 ぢん救急車とパトカーぬ音ぬちゃー  
 続ち、ラジオンテレビん無ーん、何ぬ起  
 くりたがん分からん、肝塞ぎそーいび  
 ーたん。うぬ訳ー三河島駅ぢ起きた  
 るまぎさる一件やいびーたん。

東京や恐るさんやーんち、人ん極く  
 多さぬ、沖繩んじえー一番人ぬ多さる  
 所ー平和通りやいびーたん。あんし歩  
 ちゆしんよーんなーよーんなーやいび  
 ーたしが、東京ぢてーっ人や走えー走  
 えーそーる風儀やいびーくど、恐るさ  
 ぬ、まーんかいん出じらりやびらんたん。  
 1964年東京オリンピックぬ年に寮  
 出じやーに、アパートんかい家移ーさ  
 びたん。家んかい近さる新宿駅から東  
 京駅まぢ通とーいびーたん。千駄ヶ谷  
 駅からーオリンピックぬ火ぬ良ー見  
 やびたん。

ある冬ぬ事、東京や雪ぬ多く降ぢ、  
 電車から清らさる雪ぬ景色初めて見ぢ、  
 嬉っさっし降りぢ、会社んかいやゆくし  
 むにー物言さーに電話し、白さる世界ぢ大  
 人一人っし遊ばびたん。会社んかいや  
 隠ちん直ぐ露りーる筈やいびーん。  
 ばー面さーに会社んかい出じやびたん。  
 色々しー破じ事ぬあいびーたしが、又  
 やーたい。

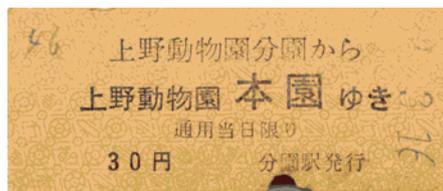
我んねー東京んかい来やる時分ー、  
 沖繩大和口やいびーたくど、大和人  
 からー「何んぢ言ぢよーが解らんどー」  
 んぢ言らりやびたしが、今ー沖繩口忘  
 たくど沖繩口勉強そーいびーん。いふ  
 なーやいびーしが、くぬ会ぢ思はま

ぢ勉  
 強そ  
 ーいび  
 ーん。



山手線上野駅から10円区間のキップ。昭和39年2月29日乗車。58×25mm 改札の鉄の跡あり。

キップの裏面



入場券 30円 昭和39年3月16日 58×25mm 改札の鉄の跡あり。キップ、入場券とも筆者提供

## 事務局から

### 会計報告

当会の事業およびそれに伴う収支決算を、下の通り報告します。

期間：平成 31 年 1 月 1 日～令和 1 年 12 月 31 日 事務局長 伊藤須美子

### 平成 31 年～令和 1 年収支決算報告

収入	金額（円）	支出	金額（円）
前期繰越金	146,133	会場借料	72,000
定期会費	84,000	夏の宴	25,012
夏の宴	40,000	忘年会	25,013
忘年会	42,500	会報発行	22,838
その他の収入	2,720	茶代等	0
		次期繰越金	170,490
合計	315,353	合計	315,353

令和 1 年末残高：170,490 円。うち現金 6,990 円、ゆうちょ銀行預金 163,500 円。

注記：・「その他の収入」は寄付金等。 ・「茶代等」は在庫あるため支出なし。

会の銀行口座（振込みの際ご利用下さい。）

- ・ゆうちょ銀行 ・店名 0-18（ぜろいちはち）（読み始めは「セ」）
- ・口座番号 9953816 ・普通預金 ・名義イトウスミコ

### 会の運営に関して

2020 年は、新型コロナウイルス感染拡大が世界的に深刻化し、日本においても社会的・経済的に多大の影響を来しました。緊急事態宣言が発出され、外出自粛など私生活での不自由も体験しました。当会も 3 月～6 月の間、休会のやむなきに至りました。7 月から再開となりますが、この奇病はなお、いつ、誰が、どこで罹るか分からない、という今後も油断できないものです。会員や関係者の皆さん、各自の適切な注意によって乗り越えていきましょう。

### 記事関係

うちなー ちどい

沖縄ぬ踊

ちど

苞 = みやげ、貢物

たまん ちゃーびい

玉御 冠 = 王冠

か ち  
書き付き = 文書

いーちーり = 緋 (かすり)

るーちゅー ちゅ やまと ちゅ  
琉球人から大和人んかい

アメリカ世 = 1945 - 1972 年。(昭和 20 - 47 年) 以後沖縄県復活。

ちゅ ぞど くくち  
肝ぬ踊る心地 = ここでは日本円を手にして感動した様子。

ねー = 地震。ねーぬ揺ゆん = 地震が起きる。

まかね やー  
賄屋 = 食堂。

三河島駅 = 国鉄 (今の JR) 常磐線の駅、東京都荒川区にある。この駅で 1962 (昭和 37) 年 5 月 3 日、列車の重大事故があり、多くの死傷者が出た。

オリンピックぬ火 = 聖火。

今号は横浜市港北区にお住まいの児玉清子さんと千葉県八千代市にお住まいの内田善子さんに書いて頂きました。

児玉さんには沖縄の舞踊についての歴史を語って頂きました。琉球王国の時代から現在に至るまで、明国との交流、冊封使との係わりなどを含め、踊が果たした役割の経緯や、宮廷から民間への普及の流れがよく分かります。

内田さんには若くして沖縄から東京へ来た頃の思い出を、懐かしく語って頂きました。当時は復帰前でした。電車、動物園、騒音、人混み、納豆、雪など、内田さんには見るもの聞くもの、珍しいものばかりでした。

## 編集について

原稿は勉強のため出来るだけ沖縄語で書いて頂きたいのですが、共通語でも構いません。共通語の原稿は事務局で沖縄語に書き換えさせて頂くこととしております。上手な沖縄語ではないかも知れませんが、原稿作成者が将来沖縄語に上達したときに、読み返して頂ければ一層よい勉強になると思います。(以下 表記上の主な注意点)

(漢字の用い方) 沖縄語の文体は漢字交じりの平仮名文とします。漢字にはすべて振り仮名を振ります。

漢字は沖縄語としての漢字とし、共通語への翻訳だけの便宜的な表示は避けます。

共通語と意味と音便の関係がある漢字を用いることを原則とします。

例： × 琉球 沖繩  
× 他府県 大和 × 顔 面

がってん がってん  
× 同意 合点

ちゅ ちゅ  
× 美らさん 清らさん

(振り仮名の振り方) 個々の漢字の至近位置に振ることを原則とします。

例： × 志 情 志 情  
× 二 所 二 所

ただし複数の漢字に対して特別の読み方をする場合、その複数の漢字に対して振ります。

例： 年寄 保栄茂 大和 近江

振り仮名の読み音が語尾変化をする場合は、振り仮名の中で変化させます。

例： 犬ん(犬も) × 犬ん × 犬ぬん  
肝ー(心は) × 肝もー × 肝  
世間んかい(世間に) × 世間ぬんかい

沖縄文字一覧と用例

と[tu] 　とゝい(鳥) 　うと(音) 　みーと(夫婦)	とゝ[hwel] 　とゝー(南) 　にとゝーでーびる(有難うございます)
と[to] 　とーふ(豆腐) 　とーばる(桃原)	へ[he] 　へい(おい「目下への呼びかけ」)
ど[du] 　どし(友人) 　やど(宿) 　どー(自分)	や[ ?jal]* 　やー(君、お前) 　やん(言わない)
ど[dol] 　どーぐ(道具) 　まんどーん(たくさんある)	や[ 'jal] 　やー(家) 　やん(である)
と[ti] 　とーち(一つ) 　とーだ(太陽) 　とん(空)	ゆ[ ?jul]* 　ゆん(言う)
て[te] 　てーく(太鼓) 　てーしち(大切)	ゆ[ 'jul] 　ゆんたく(おしゃべり)
と[di] 　ふと(筆) 　ぬーとー(喉) 　ときやー(秀才)	よ[ ?jol]* 　よーいー(おさな子)
で[de] 　でーじ(大変なこと) 　ちよーでー(兄弟)	よ[ 'jol] 　よーんなー(ゆっくり)
ふ[kwal] 　ふじ(火事) 　ふっちー(ごちそう)	あ[ ?wal]* 　あー(豚) 　あーちち(天気)
か[ka] 　かじ(風) 　かんない(雷) 　かーま(遠方)	わ[ 'wal] 　わーむん(私のもの)
ふ[gwal] 　にんふん(念願) 　ふんく(頑固)	あ[ ?wil]* 　あー(上) 　あーりきさん(面白い)
が[ga] 　がんちょー(眼鏡、めがね) 　しがた(姿)	み[ 'wil] 　みきが(男) 　みなぐ(女)
く[kwil] 　くー(声) 　さっくー(咳) 　くゆん(呉れる)	系[ ?wel]* 　系ーきー(金持ち) 　系んちゆ(ねずみ)
き[ki] 　きー(木) 　きゆん(蹴る) 　きぶし(煙)	系[ 'wel] 　うい系ー(お祝) 　わじゃ系ー(災い)
ぐ[gwi] 　ぐーく(越来「地名」)	ん[ ?N]* 　んみ(梅) 　んに(稲) 　んなじ(うなぎ)
ぎ[gi] 　かーぎ(容ぼう)	ん[ 'N] 　んに(胸) 　んみ(嶺井「地名」) 　んなど(港)
く[kwe] 　くー(鎌) 　からじくー(髪きり虫)	い[ 'i]* 　いん(縁) 　いだ(枝)
け[ke] 　けー(かゆ) 　ちけー(使者)	い[ ?i] 　いん(犬) 　いーび(指) 　いちゆん(行く)
ぐ[gwe] 　ぐったい(ぬかるみ)	を[ 'u]* 　をど(夫) 　をーじ(さとうきび)
げ[ge] 　げー(害) 　にげー(願い)	う[ ?u] 　うと(音) 　うーび(帯)
ふ[hwal] 　ふー(葉) 　なーふ(那覇)	え[ 'e]* 　えーま(八重山) 　えーじ(八重洲)
は[ha] 　はる(畑) 　はぎもー(荒地)	え[ ?e] 　えーさち(あいさつ) 　えーじ(合図)
ふ[hwi] 　ふじゃい(左) 　ふーと(いるか)	お[ ?o] 　おーじ(扇) 　おーさん(青い)
ひ[hi] 　ひやみかすん(えい、と言う)	を[ 'o] 　をーじ(王子) 　をーれー(往来)

[ ]内は沖縄語辞典による読み方 [ ?]は声門破裂音のあること、[ ' ]は声門破裂音のないことを示す。

\* は単語の語頭だけに用います。語頭以外では用いません。 例 　とゝい(鳥) 　×とゝい  
音の出だしに、僅かに i をひびかせます。